

第62回 箕面市地域公共交通活性化協議会 会議録

1. 基準日

令和7年3月28日（金）

2. 出席者

（会 長）

- ・箕面市副市長 具田利男

（副会長）

- ・大阪大学大学院工学研究科教授 土井健司
- ・箕面市地域創造部長 小山郁夫

（委 員）

- ・富山大学都市デザイン学部都市・交通デザイン学科准教授 猪井博登
- ・大阪大学大学院工学研究科助教 葉健人
- ・阪急電鉄株式会社都市交通事業本部沿線まちづくり推進部部長 阿瀬弘治
- ・北大阪急行電鉄株式会社常務取締役 出口公利
- ・阪急バス株式会社自動車事業本部営業企画部部長 野津俊明
- ・一般社団法人大阪タクシー協会専務理事 井田信雄
- ・阪急バス労働組合副執行委員長 石崎宏司
- ・大阪モノレール株式会社総務部経営戦略室長 石橋 宏章
- ・みのおの交通を考える会の代表 永田よう子
- ・箕面市身体障害者福祉会会長 羽藤隆
- ・オレンジゆずるバス再編検討分科会副分科会長 藤井健三
- ・箕面商工会議所副会頭 松出末生（監事）
- ・大阪船場繊維卸商団地協同組合専務理事 山口裕（監事）
- ・東急不動産 SC マネジメント株式会社みのおキューズモール総支配人 上田晴己
- ・国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局首席運輸企画専門官（総務企画） 釈迦戸久夫
- ・国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局首席運輸企画専門官（輸送） 中村洋一
- ・国土交通省近畿地方整備局大阪国道事務所管理第二課長 明知顕三
- ・大阪府都市整備部交通戦略室交通計画課長 江藤良介
- ・大阪府池田土木事務所参事兼地域支援・企画課長 遠藤洋一
- ・大阪府箕面警察署交通課長 田中真理
- ・箕面市市政統括監 岡本秀
- ・箕面市みどりまちづくり部長 松政秀史
- ・箕面市健康福祉部長 北村清
- ・箕面市教育委員会事務局子ども未来創造局長 戴本正博

（オブザーバー）

- ・国土交通省近畿運輸局交通政策部交通企画課長 大塚保洋
- ・国土交通省近畿運輸局自動車交通部旅客第一課長 金澤重之

以上、委員25名（監事を除く）のうち25名から書面決議書の提出があった。

3. 議 題

- (1) 令和6年度予算の補正（案）について
- (2) 令和7年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
- (3) 規程の改正（案）について

4. 決議結果

議 題	賛 成	反 対
(1) 令和6年度予算の補正（案）について	2 5	0
(2) 令和7年度事業計画（案）及び収支予算（案）について	2 5	0
(3) 規程の改正（案）について	2 5	0

※全ての議題において、箕面市地域公共交通活性化協議会規約第12条第1項に基づき、委員の総意により議決される。

5. 書面決議書に記載された意見

※書面決議書に記載された事項を原文のまま記載しています。

(1) 令和6年度予算の補正（案）について

内容	事務局回答
運転士の労働条件の改善により運行経費が増加するのは止むを得ないが、高齢者を中心とした利用者の増加による運賃収入の増加で事業支出が減少するのは好ましい流れである。	利用者数の更なる増加に向け、引き続き、周知・広報などによる利用促進に努めてまいります。

(2) 令和7年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

内容	事務局回答
協議会や各分科会の議論を踏まえたバス路線の見直し内容により、補正予算が必要となる場合は遅滞なく予算計上し、事務執行に遅れが生じないよう適切に対応すること。	今後、協議会や各分科会でバス路線の見直し内容を検討していく中で、整備費用など補正予算の計上が必要となった場合は、遅延なく予算計上を行い、適正に事務執行を進められるよう努めてまいります。
介護補助金増加により、市負担金が減少しているが、物価高騰や人件費の高騰による運行経費の上昇も見込まれるため、適宜確認を行い、必要に応じて予算の補正を行うこと。	適宜、オレンジゆずるバスの利用状況などの確認を行い、市負担金の増額が見込まれる場合は、必要に応じ、予算の補正について適切に対応してまいります。
令和7年度全体の協議会、分科会開催の日程について、概略示して欲しい。	参考資料①に令和7年度の協議会・分科会の開催日程および内容の概略を記載しておりますのでご確認ください。

(3) 規程の改正（案）について

【意見・質疑なし】

以上